



題字：ボランティア協力員 三瓶 辰一

発行：地域支援ネットワークボランティア
運営委員会
発行者：運営委員長 中丸 茂由
事務局：会津若松市高齢福祉課内
〒965-8601
会津若松市栄町5-17
電話39-1290 FAX 39-1431

令和5年7月1日発行（第117号）

～ボランティア活動の報告～

～『認知症の人と家族の会』主催 認知症カフェ「ひだまり」にて～

5月20日に認知症カフェ「ひだまり」のボランティアに参加させて頂きました。当日は島影英子さんと二人でした。島影さんとは以前「ひだまり」でご一緒したことがあり、また、別々の場所で「子ども食堂」のボランティア活動をしていた経過から、意気投合して気心も知れた仲でしたので、リラックスして望むことができました。

当日は、まず、「ひだまり」のスタッフの方と一緒にテーブルやイスのセッティングをした後、島影さんと私は、「お客様」に飲み物とお菓子の注文を伺い、トレーに用意し、注文の品をお渡しして代金をいただいて管理するという作業を任せてもらいました。

各テーブルには、スタッフの方がご自宅から持参されたお花が飾られていて、その心配りに感心しました。

和やかで楽しい雰囲気の中でも、会話の輪から少し離れていらっしゃる方がいないかに目を配り、さりげなく近寄ってお話をさせていただくように心がけました。

郡山市から「星総合病院」の認知症相談支援コーディネーターの原雅幸さんもお見えになっており、

「MCI*」や旧病院の跡地に設立される施設のことなども丁寧に説明していただきました。

充実した時間を過ごすことができ、機会があれば、また参加したいと思っています。



*MCI=Mild Cognitive Impairment 軽度認知障害、正常な状態と認知症の間

（渡部 妙子協力員）

～とうみょうこども園～

5月16日、とうみょうこども園での初めてのボランティアに参加しました。元気な年中さんが、園庭で待っていてくれて、キラキラした瞳でいっぱい色々な話を話しかけられました。今の子ども達は以前と比べて物怖じしない子が多いなあと感じます。赤や青のエプロンをつけたボランティア5人が見守る中、先生が引率して大町中央公園まで歩きました。

「空がきれいだねえ」「花が咲いてるよ」優しい声で話しかけるAさん。
 「車が来るよ～」 「はしっこに寄ってね」横断歩道で車を停めてくれるBさん。
 公園に着いてブランコやすべり台で思い思いに遊ぶ子ども達にも「順番を守ろうね」と声をかけたり、「こんな所に虫がいるよ!」と一緒に木の根元を掘ってダンゴ虫を探すCさん。極めつけは、3～14人の子ども達と追いかけてっこを始めたDさん。よく見るとDさんはアスリートの格好で、身軽で若々しい。
 かく言う私は・・・危険がないように出入口を塞ぐように立って、見守ったりブランコのこぎ方を教えたりしました。

園まで無事に帰って、みんな口々に「ありがとう」と言ってくれました。

ニコニコ笑顔と可愛い声といっぱいおしゃべりができたこと、こちらこそ「ありがとう!」でした。

みんなの元気をもらって自分も元気になる。ボランティアの先輩方からも教わりました。

(里井 由喜子協力員)



～事務局から 新人研修開催のお知らせ～

新人協力員を対象に、協力員の基本的な心得や技量向上を図るため下記により3年ぶりに集合形式で実施致します。対象者の皆様には通知を差し上げていますが、新人に限らずどなたでも大丈夫ですので是非ご参加ください。

○日 時：令和5年7月19日(水) 午前9：30～11：30 (9時受付開始)

○場 所：会津若松市 会津若松市文化センター展示室兼会議室

○研修内容

第1部 講座

(1)ボランティアにおける接遇について (2)傾聴ボランティアについて

第2部 実技車いす操作

○持ち物：協力員証(名札)、エプロン、筆記用具 等

誰でも参加できます

《 編集後記 》

田植えもほぼ終わり、畑もいろいろな野菜が植えられて、良い季節になりましたね。ただ、近年の温暖化の影響かどうかわかりませんが、朝昼一日の温度差が激しく、作物にもいろいろ影響が出てるみたいですね。それにも負けず作物も頑張っているの、皆さんも頑張りましょう。(K&K)

<現在の協力員数>

男性	31名
女性	77名
合計	108名

編集委員 中丸 茂由・皆方 貞子・池上 泰子・國廣 多美子
 (運営委員) 小林 國弘・星 聖・宮森 礼子・渡部 妙子
 澤井 和年・鈴木 良助